

# ≡≡≡ 新製品紹介 ≡≡≡

## 見栄え向上ガラスラン

### The External Appearance Improved Glass Run

鵜飼 倫宏 \*1, 沖田 智昭 \*2

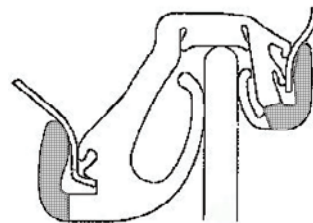
#### 1. はじめに

近年自動車産業の動向として、見栄え品質向上を目的とした製品造りが求められている。

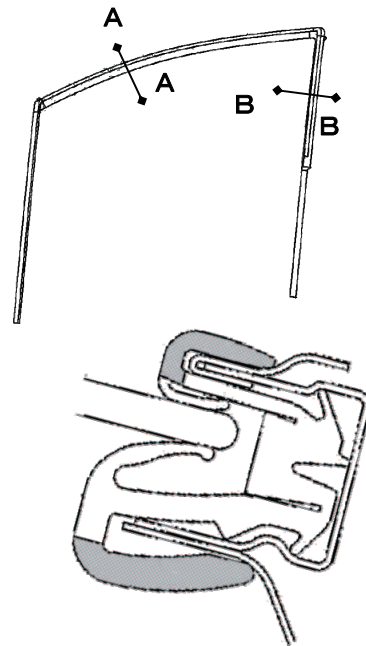
今回、その要求に対応したプレスドタイプでのガラスランを製品開発・量産化したのでここに概要を紹介する。

#### 2. 製品の概要

本製品は、自動車の窓ガラス周辺部に取付けられ雨、風、音等の侵入を防止する為のシール部品で窓ガラス開閉時はガラスをスムーズに昇降させる機能を持つ部品である。その装着部位を図-1に、製品仕様を図-2に示す。



A-A



B-B

図-2. 製品仕様

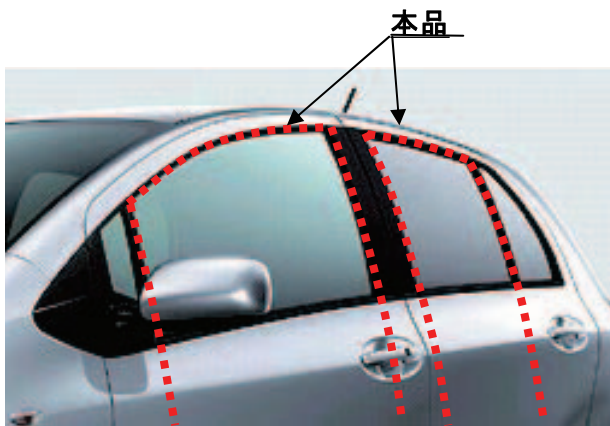


図-1. 装着部位

\*1 Michihiro Ukai ボディシーリング事業部技術部第2技術室

\*2 Tomoaki Okita 材料技術部 エラストマー材料技術室

### 3. 製品の特徴と効果

#### 3-1. 形状（構造）による見栄え改良

今回、見栄えを向上するために、旧車型と比べ室外側のガラスランとガラスとの段差（W寸法）と、意匠リップ見え巾（H寸法）を見直し、パネル構造を含め最小化させた断面形状とした。

（図-3）

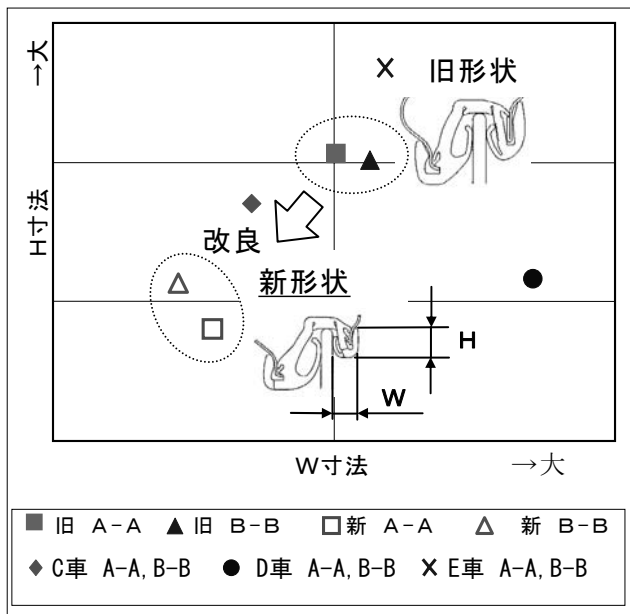


図-3. 断面寸法比較

#### 3-2. 低光沢材による型部との光沢差改良

本製品の材料は、押出断面には、EPDMソリッドゴム材料を、型成形部には、TPO材料を適用した。TPO材料は、光沢が特に低く、従来のEPDMソリッドゴム材料とは艶が合わないため、低グロスのEPDM材料を押出の意匠部に適用し、コーナ部との艶の差を低減させた。（図-4）

本材料は、製品表面を滑らかな状態よりも、均一に荒らした状態になるように配合した材料で、光の乱反射で反射強度を低下させる手法を用いた。（図-5）

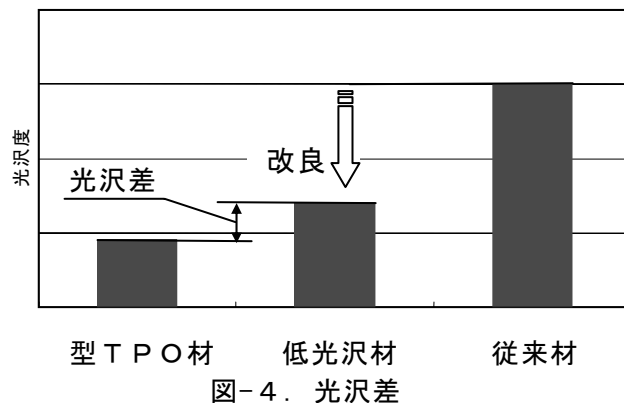


図-4. 光沢差

表面状態	滑らか	粗い
	反射强度高	乱反射→反射強度低
反射様相		

図-5. 低グロス化モデル

以上により、プレスドアにおいてもガラスラン断面小型化を図ることができ、低光沢EPDMソリッドゴム材料の適用によりコーナTPO材料との光沢差の改良が実施できた。

### 4. おわりに

今回紹介した「見栄え向上ガラスラン」は、トヨタヴィッツで採用され量産化した。

最後に本製品の量産化に際しご支援、ご指導頂いたトヨタ自動車株式会社、株式会社豊田自動織機の関係各部署の方々に厚く謝意を表します。